

[特集]

October
2025 Vol.53 No.10

10

在宅輸血のいろは —現状と課題をおさえる

1. わが国における在宅輸血の現状と課題
2. 在宅輸血の基本
 - 1) 在宅医療における輸血
 - 2) 輸血検査
 - 3) 輸血用血液の保管・搬送
 - 4) 輸血実施・患者観察・副反応対策
 - (1) 看護師の視点から（輸血実施・患者観察）
 - (2) 医師の視点から（副反応対策）
3. それぞれの立場からみた在宅輸血の現状と課題
 - 1) 血液センターの立場から
 - 2) 日本輸血・細胞治療学会の立場から
 - 3) 在宅医療機関の立場から
 - (1) 恵泉クリニックでの現状と課題
 - (2) やまおか在宅クリニックでの現状と課題
 - 4) 連携医療機関の立場から
 - (1) 多摩地域での現状と課題
 - (2) 聖マリアンナ医科大学病院での現状と課題

●藤田 浩（東京都立墨東病院）、住谷智恵子（千葉健愛会あおぞら診療所）、名倉豊（東大病院）、中根太志（トータス往診クリニック）、大橋晃太（トータス往診クリニック）、牧野茂義（東京都赤十字血液センター）、岩杉 恵（恵泉クリニック）、山岡憲夫（やまおか在宅クリニック）、香西康司（東京都立多摩総合医療センター）、大島久美（聖マリアンナ医大）、他

項目や執筆者は予告なく変更となる場合があります。

(月刊) Medical Technology

Vol. 53 No. 9 (9月号) 2025年9月15日発行
定価 1,980 円（本体 1,800 円＋税 10%）

編集発行人 白石 泰夫

発行所 医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

電話 編集 (03) 5395-7621 販売 (03) 5395-7616

郵便振替口座 00190-5-13816

印刷所・三報社印刷株式会社 製本所・榎本製本株式会社

【本誌の購読について】

●定期購読のおすすめ

- ・最寄りの書店に「定期購読」をお申し込みください。
欠号のおそれがなく、確実に求めいただけます。
- ・便利な前金一括払いでの年間購読もおすすめします。
前金一括払いの購入の場合は下記の方法でお申し込みください。
- (1) 小社特約店（書店）へお申し込みください。
特約店一覧 <https://www.ishiyaku.co.jp/tokuyaku.aspx>
- (2) 富士山マガジサービス (<https://www.fujisan.co.jp>) へお申し込みください。
希望する雑誌名で検索してください。

弊誌 E-mail アドレス: mt@ishiyaku.co.jp弊誌ホームページ・アドレス: www.ishiyaku.co.jp/magazines/mt.html

編集委員

伊藤 仁	新渡戸文化短期大学
木村 聡	昭和医科大学
下澤達雄	国際医療福祉大学
高梨 昇	東海大学医学部付属病院
長谷川浩子	千葉大学医学部附属病院
廣井禎之	順天堂大学
松本哲哉	国際医療福祉大学
三井田 孝	順天堂大学
宮地勇人	新渡戸文化短期大学

編集協力スタッフ

浅野尚美	岡山大学病院
太田 惣	北海道社会事業協会余市病院
塩竈和也	藤田医科大学
高橋 修	東京都リハビリテーション病院
中村竜也	京都橘大学
野木岐実子	帝京大学医学部附属病院
三村邦裕	東京医療保健大学
三好雅士	徳島大学病院
横山俊朗	熊本保健科学大学
渡邊亮司	済生会今治病院

編集後記

◆ 夏本番、ゆで時間わずか1分という手軽さから、素麺ばかり食べています。水で冷やした麺に、その日の気分に合わせて具材や薬味（納豆、キムチ、梅干し、きざみ海苔、ネギ、すだち、柚子胡椒などなど……）をあわせて、週2ペースで楽しんでいます。主菜は冷しゃぶと焼き鳥のローテーションです。

◆ 群馬県の公式キャラクター「ぐんまちゃん」のファンになって2年ほど経ちました。9月末までの間、昨年に続き今年もJR高崎駅がぐんまちゃん一色に染まる「ぐんまちゃん高崎駅ジャック」が開催されており、行きたくてたまりません。高崎バススタも味わいたいです。（湯本）

◆ 今月の表紙はオボッサムです。有袋類に属するこの愛らしい動物の特徴の一つに、捕食者から身を守るために行う「死んだふり」があります。死臭のような臭いまで出すというプロ顔負けの演技力を、ぜひ一度見てみたいです。

◆ 野外シネマへ行ってきました。開放的な空気のなか足を投げ出しながらリラックスして観る映画は格別で、映画館ではあまりしない飲食を気兼ねなく楽しめることもイチオシのポイントです。音楽ドキュメンタリーはそれほど刺さりませんでしたが、普段は観ないジャンルの映画に出会えることも醍醐味の一つだと思います。（川岸）

本誌の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）・口述権は、医歯薬出版が保有します。本誌を無断で複製する行為（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY（出版者著作権管理機構 委託出版物）
本誌をコピーやスキャン等により複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。